



CONTENTS

日本食物繊維学会の発足に際して .....	1
日本食物繊維学会第9回学術集会開催および演題募集のお知らせ .....	2
日本食物繊維研究会平成15年度総会記事 .....	4
編集委員会より .....	8

## 日本食物繊維学会の発足に際して

日本食物繊維学会 理事長 池田義雄

平成15年5月30日、第35回日本食物繊維研究会常任幹事会において、かねてからの懸案であった研究会から学会への議題と、当会の活性化のために若手研究者に「賞」を贈ることの審議がなされた。そして研究会を学会にすることが承認され秋に開催される総会に向けての準備をスタートさせ、ここに目出度く新たな装いを持って学会が誕生した。ご同慶の至りである。

### 食物繊維研究の黎明期

食物繊維研究の歴史は、ファイザーKKが米国から輸入したソルカブロック(セルロース)を、わが国で普及させる目的で故・五島雄一郎先生(当時慶応大学)が、高コレステロール血症の予防を中心に食物繊維食を取上げられた頃にさかのぼる。この時期、昭和56年日米学術会議が開催された折、デニス バーキット博士が来日され、本会名誉会員笹山 堅氏(当時、ファイザーKK)の御尽力にて「バーキット博士を囲む会」がもたれ、わが国における食物繊維研究に大きな刺激が加えられた。以後、日本栄養・食糧学会を中心に食物繊維研究の包括化がなされていった。このような中でポリデキステロースが開発され、これを商品化した大塚製薬KKの協賛を得て運営されたのが、平成元年桐山修八先生(当時北大)を世話人としたクローズドの食物繊維研究会であった。そしてこれが平成8年6月、印南敏先生(当時東京農大)を初代会長とする日

本食物繊維研究会へと発展し、今日に至った。  
研究会から学会へ

さて、学会への移行に際して全会員に向けてアンケート調査が行なわれた。会員270名中、アンケートに回答を寄せた人数は103名であった。学会化については全員が賛成され、学会名については日本食物繊維学会とするのが過半数を占めた。次いで日本食物繊維・ルミナコイド学会、日本ルミナコイド・食物繊維学会も提言されたことは、本学会の今後の方向性を示唆するものであろう。会則に関しては、研究会の会則の一部変更での対応とし、会費については現行の3,000円を5,000円とすることで総意を得た。

学会がスタートする本年は「Fiber Year」として位置づけたい。先ず第9回日本食物繊維学会学術集会が真田宏夫先生(千葉大)を会長に、本年11月12~13日に開催される。これに先立って松谷化学KK協賛による「国際食物繊維シンポジウム2004」とILSIによる「Vahounyシンポジウム」が、それぞれ9月、10月に開催される。このいずれも今後のわが国における食物繊維研究を更なる発展に導く機会となろう。加えて「日本食物繊維学会奨励賞」の制定されたことが特筆される。多くの方々の新たな入会と多くの方々による本学会への御支援を期待するものである。

# 第9回学術集会開催および演題募集のお知らせ

## 第9回学術集会長あいさつ

第9回学術集会長  
千葉大学教授 真田宏夫

本学術集会は日本食物繊維学会となつてから初めての集会であり、学会奨励賞も設けられるなど、これまでの集会より一段と充実した集会になることが期待されます。食物繊維・ルミナコイドの生理機能はこれまでの生活習慣病の予防に関する研究に留まらず、免疫等の生体防御機能に関する研究にまで広がってきております。また、一方ではより機能の優れた新たな食物繊維・ルミナコイド素材が開発されてきております。このような情

勢を考慮し、今回のシンポジウムのテーマとして「食物繊維・ルミナコイドと生体防御」ならびに「難消化性糖質をめぐる新しい話題」を考えております。一般講演は学会奨励賞が設けられた関係もあり、特に若い研究者にこれまで以上に魅力あるものになっております。千葉大学は千葉市にあり、都心から1時間ほどかかりますが、栄養学、医学、農学、薬学、家政学等の分野の方々の多数のご参加をお待ちしております。

## 1. 第9回学術集会のご案内

### (1) 日時：

平成16年11月12日（金），13日（土）

### (2) 場所：

千葉大学けやき会館  
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33  
Tel: 043-251-1111（代表）  
<http://www.chiba-u.jp>

### (3) スケジュール

第一日目 11月12日（金）  
午前：一般演題発表  
午後：評議員会，総会  
シンポジウムⅠ「食物繊維・ルミナコイドと生体防御」  
懇親会  
第二日目 11月13日（土）  
午前：一般演題発表  
午後：シンポジウムⅡ「難消化性糖質をめぐる新しい話題  
奨励賞授賞式

### (4) 講演および討論

発表はスライドプロジェクター，OHPを用意致します。スライドプロジェクターについてはWindows（XP，2000，98）のPower PointはCD，FD，フラッシュメモリとして受け付けます。MacintoshのPower Pointも同様に扱えると思われませんが不具合を避けるためパソコンごとご持参下さる方が無難です。

### (5) 学術集会受付

受付は開始30分前より行います。参加費・会場費（講演要旨集込み）として、正会員3,000円，学生会員1,500円，非会員4,000円を申し受けます。

## (6) クローク、昼食、宿泊の手配など

- 会館内の小部屋をクロークとします。
- 昼食は大学内あるいは近くのレストランをご利用下さい。
- 宿泊はJR千葉駅、JR西千葉付近のホテル、旅館をご利用下さい。詳細は学会誌8巻1号をご覧ください。

## (7) 学術集会会場への交通案内

東京駅より総武線で約1時間、JR稲毛駅で各駅停車に乗り換え次のJR西千葉駅下車、徒歩5分

### 位置図



## 2. 一般演題申込要領

### (1) 申し込み期限

平成16年9月10日（金）必着のこと

### (2) 申込先およびお問い合わせ先

〒271-8510 千葉県松戸市松戸648

千葉大学園芸学部生物生産科学科

食品栄養学研究室内

第9回学術集会事務局 江頭祐嘉合

TEL：047-308-8861 FAX：047-308-8859

E-mail：egashira@faculty.chiba-u.jp

## (3) 講演要旨作成要領

- ① 講演要旨原稿はオフセット印刷するのでワープロ（黒印字）でB4サイズ2頁（B4サイズで見開き1ページ）に仕上げてください。
- ② 図表を入れる場合は指定の枠内に納まるようにしてください。
- ③ 用紙は通常のプリント用紙を用いて下さい。
- ④ 発表者が複数の場合、講演者の左頭に○印を付けて下さい。
- ⑤ 所属は略称を用い、氏名の後に（ ）で囲んで下さい。
- ⑥ 講演要旨原稿のオリジナルとコピー1部およびフロッピー（ソフト名記入）をお送り下さい。
- ⑦ 複数の講演要旨を同封する場合はその旨を封書に朱書して下さい。
- ⑧ 折り曲げないようにして、「簡易書留」でご送付下さい。
- ⑨ 講演要旨原稿受領通知用のはがき1枚（宛先を記入したもの）を同封して下さい。

一般講演要旨フォーム等は日本食物繊維学会誌8巻1号にてお知らせ致します。

### (4) その他

- ① 発表者のうち1名以上は本学会会員であることが必要です。
- ② 演題の採否、講演日時等はプログラム委員会にお任せ下さい。
- ③ 筆頭の発表者から奨励賞受賞対象者を選ぶため、受賞対象者（本年度3月31日に40歳未満）は生年月日をお知らせ下さい。

# 日本食物繊維研究会平成15年度総会記事

## 平成15年度事業報告

### 1. 庶務関係報告

#### (1) 会員の状況

平成15年11月15日現在の会員数は次のとおりである。

会員：220，学生会員：5，名誉会員：8，  
団体会員：4，賛助会員：44

#### (2) 役員

会長：池田義雄

副会長：池上幸江

常任幹事：青江誠一郎，大隈一裕，  
奥恒行，金谷建一郎，倉沢新一，  
真田宏夫，田所忠弘，森豊，  
山下亀次郎，山田和彦

幹事：井出留美，海老原清，片山洋子，  
斎藤洋子，坂田隆，菅野道廣，  
竹久文之，土井邦紘，中村尚夫，  
浜野弘昭，原田悦守，和田政裕

監事：森文平，永山スミ

#### (3) 常任幹事会

第35回：平成15年5月30日

(於：独立行政法人 国立健康・栄養研究所)

第36回：平成15年8月8日

(於：独立行政法人 国立健康・栄養研究所)

第37回：平成15年11月10日

(於：独立行政法人 国立健康・栄養研究所)

#### (4) 評議員会

第8回：平成15年11月21日

(於：徳島市 阿波観光ホテル)

#### (5) 総会

第8回：平成15年11月21日

(於：徳島市 阿波観光ホテル)

#### (6) 産学協議会

未定

### 2. 学術関係報告

#### (1) 第8回公開講演会

日時：平成15年11月22日（土）

場所：阿波観光ホテル

演題，演者：

「食物繊維と生活習慣病」

##### 1. 「食物繊維の健康への関わり」

(ノースダコタ州立大・Prof. Dennis T. Gordon)

##### 2. 「食物繊維の性質と機能」

(大妻女子大・池上幸江先生)

##### 3. 「糖尿病と食物繊維」

(タニタ体重科学研究所・池田義雄先生)

協賛：大塚製薬株式会社

#### (2) 第8回学術集会

日時：平成15年11月21日（金），22日（土）

場所：阿波観光ホテル（徳島県徳島市）

##### シンポジウム I

「摂食・嚥下障害の介護食品・食事の具備すべき性状と開発の現状」

##### 1. 基調講演：摂食・嚥下障害の生理とリハビリテーションの現状

才藤 栄一（藤田保健衛生大）

##### 2. 摂食・嚥下障害者用食品の物性とおいしさ

畑江 敬子（お茶の水女子大）

##### 3. 高齢者の生理機能と介護用食品の開発

濱千代 善規（キューピー（株））

##### 4. 摂食・嚥下障害者の介護と食事

金谷 節子（聖隷三方原病院）

## シンポジウムⅡ

「機能性食品の評価－特定保健用食品からグローバルスタンダードへ－」

### 1. 特定保健用食品の現状と食物繊維の評価

大隈 一裕（松谷化学工業（株））

### 2. トクホの評価法の現状と問題点

梶本 修身（大阪外大保健センター、  
（株）総合医科学研究所）

### 3. 欧州連合の機能性食品評価プロジェクト：PASS CLAIM

清水 俊雄（フレスコジャパン）

## 4. コーデックスにおけるグローバルスタンダードへの展開

浜野 弘昭（ダニスコジャパン（株））  
一般演題10題

### (3) ニュースレターの発行

第15号：平成15年4月25日発行  
発行部数300部

第16号：平成15年10月25日発行  
発行部数300部

### (4) 研究会誌の発行

第7巻1号：平成15年6月15日発行  
発行部数500部

第7巻2号：平成15年12月31日発行  
発行部数500部

## 3. 経理関係報告

平成14年度収支決算（平成14年4月1日～平成15年3月31日）

### (1) 一般会計収支決算（単位：円）

収入の部				支出の部			
科目	決算額	予算額	増△減	科目	決算額	予算額	増△減
会費収入	2,896,500	2,667,000	229,500	運営費	876,079	1,350,000	△ 473,921
正会員	( 677,000 )	( 615,000 )	( 62,000 )	印刷費	( 161,175 )	( 200,000 )	( △ 38,825 )
学生会員	( 4,500 )	( 12,000 )	( △ 7,500 )	通信費	( 167,360 )	( 350,000 )	( △ 182,640 )
団体会員	( 40,000 )	( 40,000 )	( 0 )	消耗品費	( 31,033 )	( 100,000 )	( △ 68,967 )
賛助会員	( 2,175,000 )	( 2,000,000 )	( 175,000 )	人件費	( 180,000 )	( 200,000 )	( △ 20,000 )
事業収入	1,248,725	1,250,000	△ 1,275	会議費	( 127,446 )	( 150,000 )	( △ 22,554 )
会誌等頒布収入	( 261,410 )	( 250,000 )	( 11,410 )	交通費	( 172,000 )	( 300,000 )	( △ 128,000 )
広告掲載収入	( 784,475 )	( 850,000 )	( △ 65,525 )	雑費	( 37,065 )	( 50,000 )	( △ 12,935 )
別刷り料	( 202,840 )	( 150,000 )	( 52,840 )	事業費	2,904,185	3,300,000	△ 395,815
剰余金繰入	4,605,590	4,605,590	0	学術集会補助	( 400,000 )	( 400,000 )	( 0 )
利息配当金	947	10,000	△ 9,053	公開講演会補助	( 0 )	( 200,000 )	( △ 200,000 )
普通預金	( 45 )	( 0 )	( 45 )	研究活動費	( 141,000 )	( 400,000 )	( △ 259,000 )
特別会計	( 902 )	( 10,000 )	( △ 9,098 )	会誌発行費	( 1,949,485 )	( 1,800,000 )	( 149,485 )
その他の収入 （雑収入）	6,000	10,000	△ 4,000	H P 開設費	( 413,700 )	( 500,000 )	( △ 86,300 )
合計	8,757,762	8,542,590	215,172	予備費	0	3,892,590	△ 3,892,590
				当期剰余金	4,977,498	0	4,977,498
合計	8,757,762	8,542,590	215,172	合計	8,757,762	8,542,590	215,172

### (2) 特別会計収支仮決算（単位：円）

収入の部				支出の部			
科目	決算額	予算額	増△減	科目	決算額	予算額	増△減
一般会計繰入金	4,500,000	4,500,000	0	一般会計繰出金	902	10,000	△ 9,098
利息配当金収入	902	10,000	△ 9,098	研究会基金繰越	4,500,000	4,500,000	0
合計	4,500,902	4,510,000	△ 9,098	合計	4,500,902	4,510,000	△ 9,098

\*\*\*\*\*  
**平成 16 年度 事業計画**  
 \*\*\*\*\*

1. 学術関係

(1) 第 9 回学術集会の開催

集会長：真田 宏夫（千葉大学教授）

(2) 第 9 回公開講演会の開催

未定

(3) ニュースレターの発行

第17号：平成16年4月25日発行予定

発行予定部数300部

第18号：平成16年10月15日発行予定

発行予定部数300部

(4) 会誌の発行

第8巻1号：平成16年6月15日発行予定

発行予定部数500部

第8巻2号：平成16年12月15日発行予定

発行予定部数500部

(5) バホーニシンポジウム（2004 in JAPAN）

ILSI Japan主催の後援。

(6) 研究部会活動

定量法およびリサーチ・プロジェクトの各部会の活動を継続し、情報等その他部会活動を検討する。

2. 経理関係（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

(1) 一般会計収支予算（単位：円）

収入の部		支出の部	
科 目	予算額	科 目	予算額
会費収入	3,350,000	運営費	1,550,000
正会員 5,000 × 220	1,100,000	印刷費	200,000
学生会員 2,000 × 5	10,000	通信費	350,000
団体会員 10,000 × 4	40,000	消耗品費	150,000
賛助会員 50,000 × 44	2,200,000	人件費	250,000
事業収入	1,300,000	会議費	200,000
会誌等頒布収入	300,000	交通費	300,000
広告掲載収入	850,000	雑 費	100,000
別刷り代	150,000	事業費	3,400,000
余剰金繰入*	5,000,000**	学術集会補助	400,000
利息配当金	10,000	公開講演会補助	200,000
その他の収入（雑収入）	10,000	奨励賞副賞	200,000
		研究活動費	400,000
		会誌発行費	2,000,000
		HP維持費	200,000
		予備費	4,720,000**
合計	9,670,000**	合計	9,670,000**

\*平成15年度余剰金からの繰入金

\*\*修正箇所（平成16年度総会で要修正承認）

(2) 特別会計収支予算（単位：円）

収入の部		支出の部	
科 目	予算額	科 目	予算額
研究会基金よりの繰入	4,500,000	一般会計への繰入金	10,000
利息配当金収入	10,000	研究会基金繰越	4,500,000
合計	4,510,000	合計	4,510,000

### 3. 日本食物繊維研究会の学会化について

平成16年4月1日より日本食物繊維研究会は「日本食物繊維学会」と名称を変更することが、承認された。日本食物繊維研究会会則は、学会名、役職名を変更して日本食物繊維学会定款とすることとした。

### 4. 日本食物繊維学会奨励賞について

平成16年度より学術集会において筆頭者として発表を行った研究について2件奨励賞を授与することが承認された。対象者は受賞年度の3月31日に満40歳未満とする。

\*\*\*\*\*

## 日本食物繊維研究会の学会への移行に関するアンケート結果

\*\*\*\*\*

会員の皆様にアンケートを郵送し、ファックスにて回答いただいた有効回答数は103名でした。

#### 1. 平成16年度からの学会への移行について

回答結果	賛成	反対
%	100	0

#### 2. 学会への移行に伴う呼称について

回答結果	日本食物繊維学会	日本ルミナコイド学会	日本食物繊維・ルミナコイド学会	日本ルミナコイド・食物繊維学会	記入なし
%	62	10	21	5	2

#### 3. 会則について

「本研究会の会則は、発足時より本会が学会として活動する上で支障のない内容が盛り込まれています。そこで、学会移行に際しての会則については現在の会則の文言を一部修正する範囲で、新たな学会会則と致します」

回答結果	賛成	反対
%	100	0

#### 4. 会費について

回答結果	3000円	5000円	8000円	10000円	重複
%	38	50	8	2	2

## 日本食物繊維学会奨励賞が新設

平成15年度総会にて平成16年度より日本食物繊維学会奨励賞を新設することが承認されました。若手研究員（40歳未満）の入会と発表を奨励する目的もありますので、学術集会には是非とも筆頭者として発表していただきますようお願いいたします。賞状と副賞が授与されます。

# 編集委員会より

## 論文投稿のお願い

念願であった日本食物繊維学会が発足しました。デザインもリニューアルしましたがいかがでしたでしょうか？学会誌では英語論文も積極的に掲載していきますので、是非とも投稿をお願いいたします。

## 平成16年度会費納入のお願い

当学会は学術集会、公開講演会の開催、学会誌、ニュースレターの発行などの運営を会費に依存しております。平成16年度の会費が変更になっております。平成16年5月31日までに同封の振込用紙でご納入下さいますようお願いいたします。

平成16年度会費			
正会員	5,000円	学生会員	2,000円
団体会員	10,000円	賛助会員	50,000円（一口）

会員状況：平成16年3月31日現在			
●正会員	218名	●学生会員	4名
●団体会員	4団体	●賛助会員	43社
		●名誉会員	8名

## 【賛助会員】

太陽化学株式会社  
大日本製薬株式会社  
ダニスコジャパン株式会社  
伊那食品工業株式会社  
日本ケログ株式会社  
松谷化学工業株式会社  
株式会社カイゲン  
日本甜菜製糖株式会社  
旭化成株式会社  
清水化学株式会社  
昭和産業株式会社  
明治製菓株式会社  
アールズ・イングリディエンツジャパン株式会社  
日本エヌエスシー株式会社  
セレストージャパン株式会社

株式会社荻野商店  
日本食品化工株式会社  
大塚製薬株式会社  
財団法人日本こんにやく協会  
株式会社林原生物化学研究所  
サントリー株式会社  
富士バイオ株式会社  
武田キリン食品株式会社  
株式会社横浜国際バイオ研究所  
日清食品株式会社  
朝日食品工業株式会社  
大和薬品株式会社  
コトナチュレルジャパン株式会社  
株式会社大麦発酵研究所

全国精麦工業協同組合連合会  
佐合食品工業株式会社  
雪印乳業株式会社  
株式会社はくばく  
社団法人菓子総合技術センター  
オリヒロ株式会社  
日清ファルマ株式会社  
日本バイオコン株式会社  
第一出版株式会社  
三和澱粉工業株式会社  
フィプロ製薬株式会社  
株式会社東洋新薬  
ロケットジャパン株式会社  
フジ日本製糖株式会社

(順不同)



日本食物繊維学会

Newsletter No.17

発行日：2004年4月30日

発行人：日本食物繊維学会理事長 池田義雄

編集人：奥 恒行、青江誠一郎

印刷所：江戸クリエート株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-7

事務局：日本食物繊維学会事務局

〒162-8636 東京都新宿区戸山1-23-1

独立行政法人 国立健康・栄養研究所

食品表示分析・規格研究部気付

TEL:03-3203-5602, FAX:03-3205-6549

<http://jdf.umin.ne.jp>